

2015-16年度の 日本経済・金融市場展望

大和総研チーフエコノミスト

熊谷亮丸 くま がい みつ まる

*本日の5つの論点

*今は景気後退と踊り場の瀬戸際

*アベノミクスの政策手順は正しい

*原油安は200兆円規模の所得移転を生む

*底堅いアメリカ経済の背景

*アベノミクスのこれからの課題

*分配政策は成長戦略と同時並行で

*過剰融資、過剰設備が大問題の中国

*中国は短期⇨楽観、長期⇨悲観との認識

*日本経済はどうなるか



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

今日は大和総研の熊谷さんに来ていただきました。3年ほど前においでいただいていると思いますが、ご存じのようにテレビ東京でもレギュラーで出ておられて、日本のマクロの景気動向を伺うにはいちばん適切な方のお1人でございます。日本興業銀行などを経て大和総研に移られて、現在チーフエコノミストをされておられます。マクロのみならず、ミクロの産業動向、企業の動向についてもお詳しいです。ちょうど安倍政権の新しいアベノミクスが発表になりましたが、皆さんもいろいろお考えがあたりだと思いますが、今日はすっきりそこら辺も含めて切っていたけるのではないかと思います。

それでは熊谷さん、よろしくお願いたします。

す。（拍手）

熊谷 ただいまご紹介にあずかりました大和総研の熊谷でございます。本日は伝統のある会合にお招きいただきまして心より光栄に存じます。少しでも皆様のお役に立つような話をさせていただきます。お願い申し上げます。

本日の5つの論点

それでは、今日は私からは大きく5つの柱でお話をさせていただきます。まず、1点目として日本経済の動向ということでございますが、今の日本経済はかなり景気後退の瀬戸際のところまで来ている。4-6月期がマイナス成長というところまでございまして、現時点では7-9月